

国語教育相談室

中学校
no.
74

光村図書



特集 心を動かすプレゼンテーション

巻頭
エッセイ
言葉、そして文章とは
松浦弥太郎

教師力
講座
随筆を読む、随筆を書く
「朝焼けの中で」(三年)

書写
教えて！筆のこと

好評発売中！

飛ぶ教室の本

飛ぶ教室

「飛ぶ教室」は、光村図書が子どもの本と子どもの文化を掘り下げる総合誌を目ざして、昭和56年に発刊した児童文学雑誌です。作家の個性があふれる童話や短編、絵本の書きおろし作品のほか、作家や作品の魅力に迫るインタビューや座談会など、読みごたえある企画満載です。

定価：本体1,000円＋税
年4回発行
(1・4・7・10月の25日)

4/25
発売



第37号
特集「コトバ遊ビノススメ」



さんぱつやきょうこさん
長谷川義史 作
定価：本体1,200円＋税
ISBN978-4-89528-687-9

ユーモアとペーソスが絶妙に入り交じる
長谷川ワールドの漫画編！



リョウ&ナオ
川端裕人 著
定価：本体1,600円＋税
ISBN978-4-89528-689-3

世界を舞台にした、中学生リョウたちの
せつなくもきらめく青春物語



光村図書

中学校 国語教育相談室 通巻No.159 2014(平成26)年4月28日発行
発行人=常田 寛 発行所=光村図書出版株式会社 東京都品川区上大崎 2-19-9 〒141-8675 電話 03-3493-2111
www.mitsumura-tosho.co.jp E-mail:koho@mitsumura-tosho.co.jp 印刷所=株式会社 加藤文明社 デザイン=mg-okada

個人情報の取り扱いに関しては、弊社「個人情報保護方針」に則り、適切な管理・保護に努めてまいります。詳しくは、光村図書ホームページをご覧ください。
www.mitsumura-tosho.co.jp 広報誌の配送停止をご希望の方は、光村図書出版までご連絡ください。



試験の採点をしているところ、いろいろな「残念」に出くわす。言葉を抜き出す問題で、解答方法が違っていて「×」になる答案。解答欄を間違えた答案。いい加減な書き方で正答にできないほど字形の崩れた、書き取りの漢字。こんな「残念」は、採点者にとっても「気の毒」として心の「毒」になる。

採点では、正解は「○」、間違いは「×」あるいは「レ」と書く。おとなりの韓国でも、正解が「○」だぞうだ。しかし、ほかの国では必ずしも正解が「○」とは限らない。学生時代、中国人の先生が採点してくださった答案が「レ」ばかりで愕然としたことがあった。が、それは正解の印。欧米でも同じようだ。タリアでは、正解が「レ」、間違いはその下に赤線を引くという。ちなみにドイツでは論説形式なので正解か間違

いかという出題すらなく、おかしい部分の下に赤線を引いただけだったのと。正解には「○」、間違いには「×」「レ」というのは少なくとも万国共通ではない。

「×」の呼び方には方言差もある。どちらかといえば関東では「バツ」、関西では「ベケ」という傾向があるようだ。ほかにも方言による呼び方の違いはあるかもしれない。語源を考へるのは難しいが、「バツ」は「罰点」、「ベケ」は中国語の「不可」あるいは「不可以」からきている可能性がある。留学生の話によれば、中国では「×」を、日本と同様にダメ、とか、間違い、という意味で使うことが普通らしい。

もうはるか昔となった学生時代、研修旅行で秋の金沢に行ったことがあった。犀川のほとりで、師と仰ぐ先生に将来のことを相談した。先生は「研究

という生き方」について語ってくれた。私もそんな生き方を目ざそうと心に誓った。ふと見上げると、夕空に飛行機雲がちょうど十字の形で輝いていた。私はキリスト教徒ではないが、なんだか、壮大な、聖なる印のように見えた。がんばろう、そう思ったのだ。

ところで、先日試験の採点をしていてふと気付いた。十字は、ちよいと四十五度ばかり傾けて見ると、バツであるいはベケ(×)になる。志をもつて見上げたあの雲は、空高く描かれた聖なる十字だったのか、はたまた、大空いっぱい巨大な「×」だったのか? ……答案用紙の誤答に大きく「×」と書こうとした手を思わず停めてしまった私なのであった。

CONTENTS

探検! 言葉の森23 × _____ 森山卓郎

巻頭エッセイ 言葉と向き合う 02 言葉, そして文章とは _____ 松浦弥太郎

特集 04 心を動かす
プレゼンテーション

インタビュー プレゼンテーションの極意とは? _____ 中谷日出

プレゼンテーションで大事なこと

目の前にいる人の気持ちになって _____ 見城美枝子

はるかどエリカとプレゼンと。 _____ 照井晶博

落語家プレゼン心得 _____ 三遊亭白鳥

身体のコミュニケーション機能を _____ 荒井好一

プレゼンテーションの指導 Q & A _____ 宗我部義則

教師力講座19 16 随筆を読む, 随筆を書く「朝焼けの中で」(3年) _____ 甲斐利恵子

書写の用具研究1 20 教えて! 筆のこと _____ 清雅堂

言葉、 そして 文章とは

『暮しの手帖』編集長

松浦弥太郎

『暮しの手帖』が、言葉とは何か、と考
える時、それは文章ということになる。
言葉のつらなりによる文章で、いかに
雑誌として伝えたいことを、読者に届け
るのかを毎日考えている。

編集部では、よくこんなことを話し合う。
文章の上手い下手があるけれど、さて、
上手い文章とはそれだけ言いたいことが
しっかりと伝わる文章なのか。そしてま
た、下手な文章とはそれだけ何も伝わら
ないのかと。

「学校で教わるような上手い文章を習得
した人の文章って味気なくてつまらない
と思う。確かにそこには正しい文法によっ
て正しい内容が述べてあるかもしれない
けれど、読んでいて心が動かされないん
です」と、一人の編集部員が言った。

「たとえば、イギリスにおける演説では、
滑らかで上手な人ほど信用されず、逆に、
たどたどしくも一生懸命伝えようとして、
どもったり、何度も同じ言葉を繰り返し
たりするように、心の込められた演説の
ほうが、人は耳を傾け、信用をして聞く

文章が短かろうと長かろうと関係なく、
紙芝居を作るのだ。

さあさあみなさん、こちらをどうぞご
覧になってください。こんな話があります。
紙芝居はそんな風に始まる。何が始ま
るんだろう、早く次の一枚をめくって
くださいと思わせるような最初の一枚でな
ければいけない。その一枚には何が必要
なのだろう。二枚目をめくる。実はこう
いうことがあります……というように。

わあ、おもしろい、と思ってもらえる
ように紙芝居を作る。そしてまた、早く
次の一枚を見たいと思ってもらえるよう
に工夫をする。

要するに紙芝居というのは、文章を書
く上でのプロット(物語の枠組み、構成)
に代わるようなものだ。

自分が言葉で伝えたいことがあるなら、
A4サイズの紙でよいので紙芝居を作っ
てみて、それをまずは自分で眺めて観客
になってみる。そして本当におもしろい
かどうかをよく考える。

たとえば、道ばたでその紙芝居をやっ

と言うけれど、それと同じではないかな」
と、他の編集部員が言った。

僕はいつも編集部員にこのように話し
ている。

「文章を書く際には、決して上手に書
こうと思わないでください。文章とい
うのは上手であれば上手であるほど伝わ
るものが伝わらなくなるからです。例え
ば、あなたが自分より何も知らない年下
の妹や弟に、少し難しいことを説明した
り、見たこと聞いたことを伝えようとす
る時、どのように話しますか。横に座っ
てやさしく話しかけるように、その様子
を想像しながら文章を書いてください」。

てみたときに、子どもから大人までが足
を止めてくれるかどうか。紙芝居がおも
しろいと確信したら、そのまま言葉を足
して文章を膨らませていけばいい。おも
しろくなければ、紙芝居を何度でも作り
なおせばいい。

そうすると、子どもにも大人にもわか
りやすい言葉を使った文章には、何が大
切なのかがよくわかるだろう。

そう、文章には、はじまりとまんなか、
おわりが明確であり、具体性と、親切で
ていいねい、そしておもしろさが必要なのだ。
言葉とは、そして文章とは。

そしてこうも言う。

「すべての文章をあなたが愛する大好き
な人に向けたラブレターとして書いてく
ださい。そう思いながら言葉を選んでく
ださい」と。

そういった人を思いやった心持ちを大
切にしながら、それぞれが自分の言葉を
使って文章を書くことによって『暮しの手
帖』は出来上がる。

文章を書くにはコツがあるのでですかと
よく聞かれる。

文章を書くときにいつも意識している
のは、読んだ人が、その文章を読みながら、
いかに書かれたものをビジュアル化でき
るかである。要するに、言葉と文章を使っ
て、どれだけ具体的に情景を浮かばせら
れるかということだ。

たった一行の文章でも、相手の頭のな
かに何かしらのビジュアルが思い浮かぶ
かどうか、書き手としての腕のみせど
ころと思っている。

そのための下準備として、僕はこんな
ことを行っている。

いかに賢くならず、いかに上手になら
ないようにと心掛けることが、僕にとっ
て最も大切なことである。

文章を書いた後に、必ず確認すること
がある。

それは文章を声に出して読んでみるこ
とだ。先に述べたように、あたかも隣に
座っている誰かに話しかけるように読ん
でみる。リズムは心地良いだろうか。使
う言葉は不親切ではないだろうか。説明
に過不足はないだろうか。話しながらも
自分が相手の気持ちになって、聞く意識
も持つことだ。そうすると、直すべきと
ころが必ずわかる。

最後に参考として、**花森安治**(※)が残
した実用文十訓を記しておきたい。

- 1、やさしい言葉で書く。
- 2、外来語を避ける。
- 3、目に見えるように表現する。
- 4、短く書く。
- 5、余韻を残す。
- 6、大事なことは繰り返す。
- 7、頭でなく、心に訴える。
- 8、説得しようとしな(理詰めで話をすすめない)。
- 9、自己満足しない。
- 10、一人のために書く。

松浦弥太郎
まつら や たろ

1965年東京都生まれ。『暮しの手帖』編集長、文筆家、書店店主。92年、オールドマガジン専門店「m&co.booksellers」を開業。2000年、トラックによる移動書店「m&co.traveling booksellers」を始め、02年、「COW BOOKS」を開業。書店を営む傍ら、執筆や編集活動も行う。06年、雑誌『暮しの手帖』編集長に就任。『即答力』(朝日新聞出版)など著書多数。

※花森安治(1911-1978)

編集者、グラフィックデザイナー。敗戦後、日本の暮らしを見つめる生活雑誌『暮しの手帖』を創刊し、30年間編集長を務めた。

心を動かす プレゼンテーション

二〇二〇年東京五輪招致を勝ち取った招致委員会のプレゼンテーション。世界を舞台に、堂々と話すプレゼンターたちに、心を動かされた人も多いことでしょう。そもそも人の心を動かすプレゼンとは、どのようなものなのでしょうか。また、そのようなプレゼンをするために、どういった指導が考えられるのでしょうか。本特集では、さまざまな分野で活躍される方たちのお話を伺いながら、それらについて考えていきます。



イラスト：田上晶

PRESENTATION
インタビュー

プレゼンテーションの 極意とは？

NHK解説委員 中谷日出

NHKの解説委員を務める中谷日出さん。さまざまなテレビ番組に出演し、「毎日プレゼンです」と話す中谷さんに、ご自身がプレゼンをする際に心がけていることや、中学生に身につけてほしいプレゼン力について伺いました。

わかりやすい ビジュアルを示す

——中谷さんは、NHKが放送七十周年を迎えたとき、さまざまなプロジェクトを企画し、実現させました。そのとき、当時のNHKの会長にプレゼンをされたそうですね。

NHKの新しい歩みを示すシンボルとして、ロゴマークをつくりたいと提案しました。そのときは、ロゴの案と、「こうやって使いたい」という具体的な使用場面を、ビジュアルで見せてプレゼンをしました。それが、NHKの「三つたまご」のロゴマークの原案です。

また、ロゴだけでなく、番組づくりについても提案しました。僕は、番組と番組の間に、CMのような短い映像を流したいと思っていたんです。そういう映像は今では当たり前になっていますが、当時は一時間の番組が終わったら、すぐ次の番組が始まり、視聴者は息をつく暇がなかった。だから、息抜きになるような短い映像を流したいと思ったんです。

でも当時は、「民放のCMのようだ」と、局内の反発も大きかったんですね。ですから、そういう人たちを説得するため、実際



写真：鈴木俊介

に、十五秒・一分・三分の映像をつくり、それを見せて提案したんです。プレゼンをするときには、最終形に近い具体的なビジュアルを示すようにしています。そうすると、イメージを共有でき、共感を得やすいですから。

それから僕は、たとえ相手がNHK会長でも、専門的な言葉は使わず、わかりやすいビジュアルを使ってプレゼンをするように心がけています。そういう意味で、池上彰さんが僕のお手本。池上さんは、テレビ番組「週刊こどもニュース」で、難しいニュースを、模型を使ってわかりやすく解説していたでしょう。ああいうふうに、プレゼンをしたいなあと、いつも思っています。



たいのか、まず図解して整理しなさいと伝えています。僕は「プレゼンテーション・マッピング」と勝手に名付けているのですが(笑)、この地図をつくれれば、原稿を書かなくてもプレゼンができます。

それに、図解して物事を考えると、自然に「要約力」が身につくんです。プレゼンには、この「要約力」がとても大事。「要約するにうなずく」と説明できる力は、プレゼンの基礎になると思います。

「伝えたい」とは何が

——中学校二年の教科書には、「印象に残る説明をしよう。プレゼンテーションをする」という教材が掲載されています。グループごとにプレゼンの準備をして、発表するという内容です。今のお話を伺って、中学生がグループでプレゼンの準備をするときにも、マッピングは有効かもしれないと思いました。

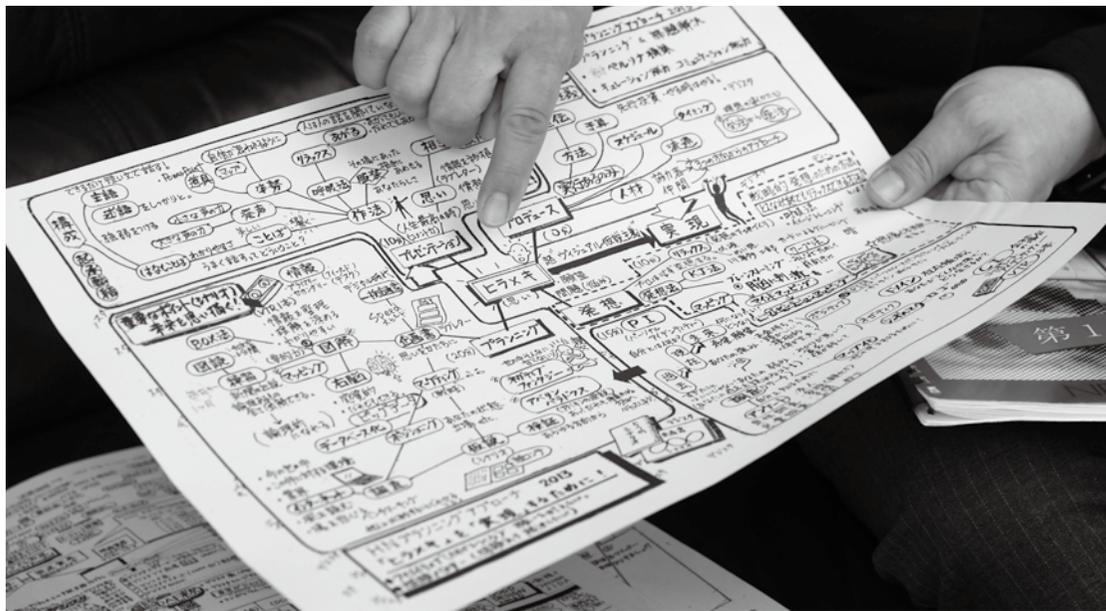
グループでプレゼンをする際、まず自分たちが知っている情報や伝えたいことを出し合うところから始まると思います。それらをすべて出し合って、その中から「何をいちばん伝えたいのか」「聞き手が知りたかったことは何か」を絞っていく。そのために

「図解して整理する

——中谷さんは、大学でプレゼンテーションについての講義をされているそうですね。

NHKでは、マスコミ志望の大学生を対象に「NHK講座」(※)を開いています。この講座では、現役の局長が交代で、番組制作、放送技術、放送ジャーナリズムなど、それぞれの専門分野について話をします。僕は、解説委員という立場と、これまで何度もプレゼンしてきた経験から、「プレゼンテーションの極意」というテーマで講義をしています。

ここでは、普段自分がプレゼンをするときに、どんなことをしているかをお話しています。僕はプレゼンをする前に、必ず自分が話したいことをすべて紙に書き出してマッピングします。そうやって図解していくと、自分が話したいことがどんどん明確になってくるんです。ですから、大学生には、何を提案し



▲中谷さんがプレゼン前にいつもつくる「プレゼンテーション・マップ」。これによって、自分が伝えたいことが明確になる。

「伝えたい!」という強い気持ち それがプレゼンテーションの極意です。

マッピングという方法は、とても有効なんじゃないかと思っています。

プレゼンテーションの指導って、パワーポイントをどう使うかとか、どういう話し方をすればよいかとか、ともすれば、テクニックを教える方向に走りがちですよ。でも僕は、「何を伝えたいか考えること」がいちばん大事だと思っています。だから、学校の授業でも「何を伝えたいか、グループで探すところに時間をかけてほしいな」と思います。

「伝えたい」という気持ち

プレゼンの原動力になるのは、何よりも「伝えたい」という強い気持ちです。余談になりますが、僕はプレゼンをするとき、自分を盛り上げて、時には準備のため前日に一睡もしないで(笑)、伝えたいという思いを最大限に高めてから、現場に臨むようにしています。

「プレゼンテーションの極意は何ですか」

と尋ねられたら、「相手へ伝えたいという強い気持ちだ」と僕は答えます。もちろん、独りよがりなプレゼンになってはいけなから、相手が聞きたいことが何かを考えた上、わかりやすい資料を準備したりします。その上で、プレゼン当日まで、自分の気持ちを高めていくことが大事だと思います。大学生にもよく言うのですが、流暢にプレゼンをする必要はないんです。うまく話せなくても「これを伝えたい」という気持ちがあれば、相手は耳を傾けてくれるし、共感もしてくれる。僕はそう信じています。(談)

なかや・ひで

神奈川県生まれ。広告プランニング、広告映像アートディレクターとしてフリーで活動後NHKに入社し、アートディレクションを担当。一九九五年文字を飾る形で冊子「新日コマック三つ」(たまご)のデザインを行う。九九年解説委員に就任(芸術文化、デジタル関連担当)。メディアリテラシーに取り組み、光村図書小学校「アップルズ」には、説明文教材「アップルズ」で伝える」が掲載されている。



プレゼンテーションで大事なこと

普段プレゼンテーションをする機会が多い方々に、プレゼンをする際に大事にしていることや心がけていることなどを伺いました。



目の前にいる人の気持ちになって

ジャーナリスト

見城美枝子

アナウンサーなら、人前で話すのは得意だろうと思いますが、決してそんなことはありません。いざ話すとなると緊張します。解決策は講演でしたら、自分でも絶対に大丈夫と言えるくらいの準備をしています。

もう一つ大事なことは、話を聞いてくださる方の気持ちです。「こんにちは、見城美枝子です。今日お話ししたいのは……」と切り出しながら、集まった人の状況や反応を確かめます。「いいぞ」とか「えっ、そうなの」とか、会場から声が返ってくるはずありません。ですから、私は耳ではなく、目でそれを聞くようにしています。講演でもそうですから、プレゼンは、より一層このことが求められると思います。

プレゼンは、自分が思っていることをただ訴えるのではなくて、それを相手に受け入れてもらうことが目的ですから。

ステイプ・ジョブズはプレゼンの達人と言われていますが、ジョブズは、彼が生み出す商品同様、どうすれば相手の期待に応えられるかに対して一切の妥協を許さなかった。プレゼンに集まった人たちが「もうそろそろだな。来るぞ、来るぞ」と待ち構えているところに、「じゃあ、お約束の時間だね」と新商品をお披露目する。期待が頂点に達しているから、効果抜群です。身近なところに目を向けると、お店の人とお客さんの関係にも、共通するものがあります。店の人は、店にある商品すべてを勧めるのではなく、お客さんの話を聞いて、「そうですか。そういうことをお望みなら、

これはいかがでしょう」と応対しています。こんなところにも、プレゼンのヒントがあります。

言葉巧みで流暢な話しぶりだったけれど、何も心に残らなかったという経験は、皆さんもおもちではないでしょうか。聞いている相手の気持ちになって話す。そのことを、ぜひ心に留めていただきたいと思います。(談)



けんじよう・みえこ
群馬県生まれ。TBSアナウンサーを経てフリーに。海外取材を含め五十六か国訪問。中教審など政府各種委員を歴任。現在、青森大学社会学部教授を務め、テレビ番組のコメントーターとしても活躍中。「会話が上手になりたいあなた」(リン社)など著書多数。



はるかとエリカとプレゼンど。

六年ほど前、デスクの女性が退職することになった。後任はすぐ決まった。ただ、前の会社を辞めて来るため、どうしても二か月かかる。その間、派遣を頼むことにした。当時、打ち合わせでよく行く会社に篠原さん(念のため仮名)という派遣の女性がいて、篠原さんはホスピタリティと感じのよさを兼ね備えたとてもいい人だったので、同じ派遣会社を紹介してもらい、雰囲気も能力もひっくり返るくらい篠原さんのような人だとお願いした。話がちょっと俗っぽくなる危険を顧みず、あえて芸能人だとえてみると、綾瀬はるか。ああいうおっとりとしてほわんとした感じだと思ってください。派遣会社の担当はわかりましたと力強く言ってくれた。

僕はふだん広告の仕事をしていて、依頼者である企業にコピーやCM企画をプレゼン

ンしているわけだが、はじめてプレゼンを受ける立場になったわけだ。そう。いつもとは逆。派遣会社はまずひとり提案してくれた。話をわかりやすくするために再び危険をおかすと、沢尻エリカ。で、提案はエリカ様ひとりだけ。一案プレゼンだった。事前の話ではふたり提案してくれるはずだったのに……。担当はいかにエリカ様がおすすめかを熱く語りだした。でも話が違う。こうなるともうだめ。熱弁がまるで耳に入らな来ない。ああ、この話、早く終わらないかなあ……。

やがてあることを思い、愕然とした。待て。自分もふだん、こういうプレゼンをしてはいないだろうかと。綾瀬はるかを望む相手に沢尻エリカを押し付けてはいないだろうか。熱意と独善を都合よく混同しながら。結局のところ、いいプレゼンかどうか

を決めるのは、そのプレゼンを聞く相手だ。いくら時間をかけて準備をして自分の思いをうまく話せたとしても、自分で満足するだけではダメ。いい話が聞けたと相手満足してくれなくては意味がない。立場を逆にすることで、コミュニケーションの基本中の基本を思い知らされたこの出来事、今でもよく思い出す。

コピーライター

照井晶博



てるい・あきひろ
北海道生まれ。博覧強風。風とパラソルを経て、二〇一一年株式会社照井晶博を設立。主な仕事に、サントリーBOSS(このらくでもない、すばらしき世界)、ホンダFREED This is、サイコー(ちやうどいいHoodie)など。TCC調音、ACCグラブリ、朝日広告など監修多数。

落語家プレゼン心得

落語家 三遊亭白鳥

さて、落語家って何人いるか、ご存じですか？ ふと頭に浮かぶのは十人位でしょうか？ それがどっこい私の所属する落語協会だけで三百人以上いて、真打ちだけでも二百人近くいます。そんな大勢の落語家が生きていくために、都内四軒ある寄席で毎日プレゼンをしているのです。

まず寄席に出るには、それぞれの寄席の社長さん、私たちは席亭と呼びますが、その偉い人を選ばなければいけません。真打ちになっても出ることができない人もいれば、二つ目というその下の地位でも選ばれて出る若手落語家もいます。

それじゃあ、席亭はいつ芸人を選ぶのでしょうか？ それは高座の姿を毎日録画して全部見ているのです。何度となく高座に上げて、芸を磨いているかチェックするのは。基準は一つ。お客さんが喜んでいるか？ 爆笑させても感動で泣かせても芸で

感心させても何でもいい。また寄席に来たと思わせる芸人を選びます。でもこの喜ばずのが難しい。まず持ち時間が短い。トリでない限り十五分、時間が延びていたら十分の場合もある。その短時間で喜んでもらうには事前の観察が大事。高座の脇から先が上がっている芸人の受け方、客層、雰囲気を見てネタを決める。

しかし、気をつけなければいけないのは前に上がっている芸人がバカ受けしているから自分も受けると思わないこと。お客さんを甘く見てはいけない。もし自分が思ったほど受けなかったら「何で？」と慌ててしまう。だから平常心で上がればよいのですが、悟りを開いている訳じゃないからこれは無理。なので私は、「俺は受けないだろう」と思っただけでいい。これなら受けなくて当たり前、受けたらラッキーです。そんなネガティブな考えでよいのか？ と



さんゆうてい はくちよう
新潟県生まれ、日本大学芸術学部卒業。一九八六年三遊亭白鳥入門。二〇〇一年に真打ち昇進。新作落語を自ら作り、その数は百本以上にのぼる。著書に、創作落語集「砂漠のハイ止まり木」（講談社）、「キンギョ★落語ボーイ」（論創社）がある。

身体のコミュニケーション機能を

昨年の九月、話し下手でプレゼンテーションが苦手だと思っていた日本人が、IOC委員九十七人の心を動かした、二〇二〇年東京五輪招致プレゼン。このプレゼンテーショントレーナーを務めたマーティン・ニューマンが「デリバリーを制するものは、プレゼンを制する」と言っています。

デリバリー（届ける）とは、How どのように伝えるかということです。日本人及び日本の教育は、What 何を伝えるかを重視してきました。メッセージや意見をいかに作るかがメインテーマで、どのように伝えるかは欠落していました。その結果、知識や教養や学歴は高いのに、人前では尻込みして意見を伝えられない人々をあふれさせてきました。

人は、この人の話を聞いてみようという気持ちを喚起されないと、実は真剣に聞か

ないものです。その気持ちを喚起させるのは、論理ではありません。感情です。

あなたに伝えたいという思いで、聞いている人の「目」を見てスピーチをする。「手」を使って図解したり、共感を呼び起こして話す。「声」も明瞭さだけでなく、情感に訴える使い方が必要です。まさに、オリンピック招致の七人のプレゼンターが実践したように。

滝川クリステルさんは、おもてなしという概念を手のジェスチャーで目に見せました。佐藤真海さんは、目で語りかけることでドラマを伝えることができました。安倍首相は、三種類の声の変化で、説得と昂揚と決断を伝えました。フェンシングの太田雄貴さんは、真顔を武器に信頼を伝えました。

このように心を動かせるのは、Non verbal（非言語）情報です。目や手や声と

日本プレゼン・スピーチ能力検定協会理事長

荒井好一

いった身体のコミュニケーション機能の開発が、デリバリーの大切な要素です。ニューマンはこうも言います。「スピーチはスポーツだ」と。

そのとおりです。身体機能を使う技術は、実践練習によって培われます。理論を学ぶ身体で覚え込ませるから、再現性が高く、相手の心をダイレクトに動かせるものになるのです。



あらい よしかず
京都府生まれ、広産会社に三十八年在籍し、六百本のプレゼン歴をもつ。「目・手・声」の身体コミュニケーション機能を開発する「プレゼン・スピーチセミナー」を主催。著書に「心を動かす！「伝える」技術 五輪招致七人のプレゼンターから学ぶ」（日新書）などがある。

プレゼンテーションの指導

Q&A



「何をテーマにしたらよいのかわからない」「ICTをどう活用したらよいのか」など、現場の先生方から寄せられた悩みに、宗我部義則先生がお答えします。

Q 生徒たちが、プレゼン資料をつくることばかりに夢中になってしまいます。

A 「何を伝えたいのか」をはっきりさせ、資料づくりのルールを設けるよう指導してください。

資料は立派だけれど、心に残らないプレゼン、というのは大人の世界でもよくあることです。資料をつくるときは、見栄えにこだわって、内容がおろそかにならないよう注意しなければなりません。

まず、資料づくりに入る前に、「何を伝えたいのか」ということを、はっきりさせておくことが大事です。そこから「必要な資料は何だろう」と考えさせていくとよいでしょう。事前に「何を伝えたいか」を考えさせることで、生徒たちは「これで伝わるだろうか」と、吟味しながら資料をつ

くるようになります。

また、私は資料づくりにルールを設けるようにしています。「使用する写真は三枚まで」「一枚の資料の文字数は三十字以内」「使う色は三色まで」などの制限をすることで、資料づくりにかける時間を短縮することができます。また、生徒たちは「どこに色を使って強調して説明したらよいのか」「どこに写真を使ったら効果的なのか」など、資料を使うことの意味や、資料の示し方を考えるようになります。

Q プレゼンの指導で、

宗我部先生がいちばん大事にしていることは何ですか。

A 「聞き手のニーズ」を、しっかり分析させることです。

これまでのプレゼン指導は、「自分が伝えたいことをしっかり伝えること」「どうやって自分が伝えたいことを伝えるか」にばかり指導の力点があったように思われます。もちろんこれが大切なのですが、自分本位になりすぎるのが問題です。もっと聞き手のニーズを分析すること」に力点を置いた指導を加えていくべきです。

プレゼンには、「言いたいことを理解してもらおうこと」だけでなく、「理解してもらった上で自分の考えを選んでもらうこと」などさまざまな目的や達成目標があり

ます。前者（説明型プレゼン）の場合「相手が本当に知りたいことは何か」をきちんとつかまないと、聞き手が満足する説明ができたことになりません。また後者（説得型プレゼン）の場合、「相手が本当に必要としている提案」にならなければ、理解はされても選んでもらえないということが起こります。つまり、プレゼンでは、「聞き手のニーズ」を分析することが成否を分けるのです。

ここが指導のポイントになります。相手が何を求めているのか、相手が知らないこととは何か、この事柄について相手はどう受け止めるだろうか……など、聞き手のことを徹底的に予想・分析させ、何をこそ伝えたり、提案したりすべきか、自分が言いたいことと聞き手が聞きたいこととの関係をしっかり考えさせる。そうやって、聞き手と対話的なコミュニケーションができるようになることが大事だと思います。



Q 時間がなかなか取れません。あまり時間をかけずに

プレゼンの授業をすることはできませんか。

A 普段の国語の授業に、プレゼンを気軽に取り入れてみましょう。総合的な学習の時間とリンクさせてもよいと思います。

プレゼンの授業というと、パソコンやプロジェクターを使ったり、発表の練習を入学に行ったり……と、大がかりなものを用意しがちです。でも、もっと楽に考えてみてはいかがでしょうか。

私は「メモカード・プレゼンテーション」と名付けたプレゼンを、授業のさまざまな場面を取り入れています。A5判の小さなカードにスピーチメモを簡易書きし、それを見せながらプレゼンをするというものです。

例えば、「走れメロス」の授業で、「メロスは、なぜこういう行動をとったと思うか」について考えさせるとき、私は生徒たちに自分の考えをカードに簡易書きで書かせ、グループの中で順に発表させます。

この活動は、プレゼンの練習になること



はもちろん、①簡易書きにすることで、考えを具体化することができる。②カードを見せながら話すほうが何も持たずに話すより、人前で話すことの抵抗感がぐっと少なくなる。③短時間で生徒全員が発表することが可能。……などの利点があります。小さなカードに、自分の言いたいことを短文でまとめることは、プレゼン資料をつくるよい練習になります。ぜひ授業のいろいろな場面を取り入れてみてください。

それから、プレゼンの授業を総合的な学習の時間などとリンクさせてもよいでしょう。例えば、提案するテーマ探しは総合的な学習の時間に行い、資料づくりや発表は国語の時間に行う、などと柔軟に考えていけばよいのではないのでしょうか。



何についてプレゼンをさせるか、
テーマ選びに苦労しています。

A 身近な話題を取り上げましょう。
そして、おもしろい切り口で
提示してあげるとよいと思います。

教科書(二年P51)では、テーマ例として、「クラスの『お薦め本』大賞を推薦する」「新生徒に学校生活の場面を取り上げて説明する」などが挙げられています。このように生徒にとって身近なテーマを取り上げるようにしましょう。さらに、そういうテーマを、「〇年〇組文学賞」をつくらせてみようとか、「新入生のために学校紹介ポスターをつくってみよう」などと、生徒たちがおもしろがるような切り口で示してあげることも大事だと思います。

また、私は以前、総合的な学習の時間に地域をフィールドワークさせ、そこからバリアフリーの問題や放置自転車の問題など、気づいたことを挙げさせ、それに対しての改善策を提案しようという授業をしたことがあります。そのように、総合的な学習の時間を使って、身近なところからテーマを探してもよいかもしれません。

ICTをもっと活用したいのですが、
どのように使ったらよいのでしょうか。

A デジタルカメラやタブレット端末を
テレビにつないで映像を見せるなど、
大きさに考えずに、気軽に活用すればよいと思います。

プレゼンというと、パワーポイントでスライドを作成しないといけない……などと考えがちですが、ICTはもっと気軽に活用すればよいと思います。

例えば、プレゼン資料は画用紙などに書きでつくらせ、デジカメで写真を撮ってそのままテレビにつないで映すとか、タブレット端末で撮った映像をプロジェクターで映すだけでも、大いに役立ちます。

学校にはICT担当の先生がいらっしゃると思います。すべて自分一人で行おうとせずに、そういう先生に相談してみてもいいでしょうか。きっと、丁寧に機器の使い方などを教えてくださるはずです。



発表がうまくできない生徒に、
どのような指導をしたら
よいでしょうか。

A 絵コンテをつくらせるとよい
と思います。
また、話し方については、
普通の授業の中でこまめに指導
していくことが大切です。

発表原稿をきっちりとかけるのではなく、教科書(二年P52)のような絵コンテをつくらせると、イメージが湧きやすく、発表がスムーズに行えます。

また、話し方についていえば、プレゼンでは、流暢に話すことを要求しなくてよいと思います。それよりも、聞き手を意識し、伝えたい内容をしっかり話せているかというところに重きを置くべきです。

話し方や声の出し方については、普通の授業でこまめに指導していくことが大事です。「国語教育相談室No.71」に、「声を届ける」という私の実践を少し紹介していますので、そちらも参考にしてくださいねと思います。



Q 宗我部先生は、どのようなプレゼンの授業をされているのですか。
A 学校紹介のポスターをつくるという実践をしています。

「広告会社をつくらせて、学校PRポスターのプレゼンをする」という実践をしています。学習グループを広告会社に見立て、クライアント(学校)の依頼を受けて、学校PRポスターをつくり、プレゼンで自作作品をアピールするというものです。授業の大まかな流れは、

①実際の広告ポスターを読み解き、その表現の工夫を考える。
②クライアント(学校)の依頼内容をもとに、ポスターのコンセプトを考える。

③ポスターを制作する。
④ポスター作品のプレゼンをする。
……というものです。

この授業で、生徒たちは「自分たちのポスターを選んでほしい」と、熱のこもったプレゼンをしていました。このように、相手を説得しなければならぬプレゼンのほうが、生徒たちは意欲的になります。発表自体も力の入ったものになります。詳しくは、「国語教育相談室No.60」で紹介しています。ぜひ、参考にしてください。



そがべ・よしのり

埼玉県生まれ。お茶の水女子大学附属中学校教諭。お茶の水女子大学非常勤講師。国立教育政策研究所「教育課程実施状況調査(中学校国語)」作成および分析委員。平成二十年告示中学校学習指導要領解説国語編作成協力者。光村図書中学校「国語」教科書編集委員を務める。

随筆を読む、随筆を書く

使用教材：「朝焼けの中で」(三年)



今回は、三年の最初の教材「朝焼けの中で」を使った授業をご紹介します。

最初にこの教材文を読んだとき、心の中がしんと静まる感覚がありました。こんな文章が書けたらいいなと思ったのです。

文章を読みながら「言葉の力」を感じました。この文章をお手本に、構成を学び、言葉を選んで随筆を書く、という単元にしたいと思いました。

単元に入る前に

教材文に使われている言葉を味わう

「朝焼けの中で」を読むためには、まず、子どもたちが、この教材文に使われている言葉を理解し、使えるまでになっていることが大事だと思います。

私は単元に入る前に、教材文に出ている言葉を使って百字程度のお話をつくる「言葉の小劇場」という学習をすることが多くあります。「言葉の小劇場」については、「国語教育相談室No.60」をご参照ください。今回は教材文に使われている次の言葉で、百字程度のお話をつくらせました。

ひんやり・色づく・絶妙な・及びようのない・打ちしおれる・涙ぐむ・いたわり・言葉にならない・いとしさ

第一時

「朝焼けの中で」を読んで、構成を分析する

まずは前時に行った「言葉の小劇場」の文章を読み合います。子どもたちが書いたものを、二つ紹介します。

【ひんやり】

私は森の中にいた。上を見上げても、木々に隠されて空の様子がわからない。少し歩くと土のやわらかい感触を感じる。空気が澄んでいる。深呼吸をしてみると、ひんやりとした空気で体が満たされる気がした。

【涙ぐむ】

点差はたったの一点だった。彼にとっては最後の公式戦。他のチームメイトが声を出して大泣きする中で、彼だけは、静かに涙ぐんでいた。それは、いつもクールな彼が見せた、たった一つの感情だった。

子どもたちの文章を読んでいると、「朝焼けの中で」を読んでいるときと同じような、しっとりとした世界が広がっているのを感じます。言葉そのものもつ力強さを実感した後、教材文を読みました。読み終わった後、子どもたちが「先生、私たち、ここまで来たんですね」と、つぶやいていました。それを聞いて、「言葉の小劇場」の学習が、導入として大きな役割を果たしたと感じました。

そして次に、左のように板書しながら内容を解説していきました。「朝焼けの中で」は、六段落になっているので、段落ごとに1〜6の数字で示しました。

1. いつ? (場面設定) 導入
▼過去の体験(場面) ▼もっと詳しく
2. 体験の説明(具体化①)
▼もっと詳しく
3. 体験の考察
← 体験の意味(抽象化①)
4. 体験の印象(具体化②)
5. まとめ(現在の視点で)
▼体験の意味(抽象化②)
6. 結論
▼一文で(抽象化③)

この解説は、「朝焼けの中で」の内容を細かく読み取るためのものではありません。実際に随筆を書き始めれば、子どもたちはこの文章にしっかり向き合うことになるので、この段階では、構成を理解することを目標にしました。子どもたちは、この段落構成をまねて随筆を書きます。

一年生のときから「具体化」と「抽象化」という言葉学習してきた子どもたちなので、私の解説も理解できているようでした。今回も「具体化」「抽象化」の往復運動をしながら文章を書くことを経験させたいと考えました。

そして、いよいよ書くための材料探しです。子どもたちには、書くに値する「過去の体験」を探すように伝えました。最初のうちは、「そういう体験はないなあ」とつぶやいていた子どもも、数分後にはいくつかの候補を挙げていました。こういふとき、私は教室中を歩き回って、子どもたちとどんどん対話をします。題材を掘り起こし、膨らませ、自信をもたせるのです。そして、一人ずつ、いつのどんな出来事かを簡単に発表する時間を取りました。

「小学校二年の運動会でのこと」「おばあちゃんが病気になったときのこと」「幼稚園のときのけんかのこと」など、いろいろ



るな案が出されました。そういう時間は、ふんわりとあったかい雰囲気になります。最後に書きだしの一文を書いて提出させました。

第二時

友達の書きだしを読み合い、講評を聞く

前時に書いた子どもたちの書きだしを、一覧できるようにプリントして、さっと読み合いました。こんなふうに友達の書きだしを読み合うことは、子どもたちにとって楽しく、刺激をもらえる時間です。

随筆を読む、随筆を書く

■着想・書きだし集

- ・四歳か五歳のときだ。初夏の昼は思った以上に暑かった。私は家族と競馬場にいた。
- ・中一の秋だった。空は灰色に曇っていた。私はただ静かに眠る祖母を見て泣くしかなかった。
- ・五つか六つくらい頃だった。外はじめじめしていた。私は父と狭い歩道を歩いていた。
- ・六歳、七歳ぐらいの頃。父とけんかして、リュックにいろいろ詰めこんで、家を無言で出て行った。
- ・小学校低学年のとき。作文を書いて先生に見せに行ったとき、お母さんと呼んでしまうことがあった。
- ・中三の最初。親とけんか。勉強のことで親に言われてけんか。

この時点で、すでに森崎さんの文章をまねて書くようになっているのがわかります。どの子も、幼いながらも描写を入れようと試みています。

そして、この「着想・書きだし集」を見ながら、一つ一つの書きだしについてコメ

ントをしていきました。そのときの私の発言をいくつか紹介します。

■今回の目標は「しっとり」ですよ。森崎さんの文章に学ぶのですから、全体から「しっとり」感が出ているかどうか気にしてくださいね。

■「描写」を大切にすること。そのときの状況を読者に「説明しよう」という意識をもちましょう。

■五感を働かせて。

・そのときに見えたものは何ですか？

・聞こえてきた音はどんな音？

・暑かった？ 寒かった？

・風は吹いていた？ においはどう？

・どんなふうに出ていったの？

■「無言で」「泣きながら」「足音を立てて」？

・どんな表情？

・テレビカメラでズームアップ。パン。

■「抽象化」と「具体化」の往復運動を意識しましょう。

■常体で書きましょう。「思った」に要注意ですよ。その「思った」という言葉

が必要なのか、自分に問うこと。

■文の長さは、短く、ぱつ、ぱつと。ぶつ

切りでもいけませんよ。短い文と少し

長い文。バランスという意識を。



るね」と提案してみます。「そのとき周りはどんなものがあったの？」「どんな表情してた？」「つらかったの？」と、インタビュアーしてみます。うまくいかないこともあります。とにかく対話を続けま

す。

そして、下書きを丁寧に見て、鉛筆で添削しました。添削したものは、一人ずつ簡潔にコメントしながら返します。返された原稿を見ながら、どんどん清書をする子どもたちの姿は、とても頼もしく見えました。

第五時〜第六時

文集を読む・まとめ・講評・振り返り（あとがきを書く）

最後に、全員の文章を文集にまとめ、子どもたちに配りました。今回は、私が朗読して紹介することにしました。上手に朗読すると本当にいい文章だなと思えます。ここは教師の腕の見せ所です。文集を読みながら、子どもたちに「いい表現だな」というところが線を引かせます。「おーっ」という声が上がります。とてもいい時間になりました。

実は、このようにして文章を仕上げた経験が、後の高校入試でも生きてきたのです。

昨年度は、受験の小論文を終えた子どもたちから「構成を考えてから書いた」「抽象化と具体化の往復運動を意識した」「最後の一文をびしりと決めた」などの報告があり、うれしい気持ちで聞きました。最後に、この授業で子どもたちが書いたものの中から、一つをご紹介します。

* * *

短気

七つのおときだ。雨は止みそうになかった。

私は誰もいない玄関で、ある少女の前に立っていた。どんよりした空気が私たちの

■「この言葉でいいのか」「もっとびったりの言葉はないのか」と、自分に問いかけながら書きましょう。

■最後は一文ですよ。たったの一文。

そして、コメントした後、次のように板書しました。

随筆を書くために

- ・読み手のイメージを鮮明にしてい
- ・「説明しよう」という意識
- ・「描写」を入れる（五感）
- ・具体化と抽象化
- ・視点を動かす（見渡す・見つめる）
- ・文末表現
- ・言葉の吟味

第三時〜第四時

原稿の下書き・清書

いよいよ原稿書きに入ります。こういう時間はひたすら机間指導をします。子どもたちと本気で対話できる楽しい時間です。

幼い言葉もありませんよ」「こんな表現もあるかな」

間に漂っていた。予鈴が鳴った。

ザーザーと雨音が聞こえる中、私たちは

無言だったが、口火を切ったのは彼女だ。

「ウザイのよね」。一瞬、彼女の言葉が理解できなかった。その意味が腑に落ちた瞬間、私は手に持っていた傘を、思い切り彼女に叩きつけていた。頭の中が真っ白だった。傘を握りしめていた手が冷たかった。

私はあの朝、初めて自分の短気を情けないと思った。ああ、やってしまったのだ。みぞおちがキリキリと痛んだ。なのにどうしてあおとき、「ごめん」のひと言が言えなかったのだろう。

その後、険しい形相をした先生に「あなたが叩いたせいで、彼女の唇が切れたのよ」と叱られた。大変なことをしたと思いつつも、謝れなかった。初めて人を傷つけた。

幼い頃から、友達を大切にしないといつも言われていたはずなのに、彼女の言動についてカッとなって、自分でも予測できない行動に出てしまった。悲しくて、悔しくて、恥ずかしくてごちゃごちゃだった。痛かっただろうな、彼女は。

人はときに、自分の感情をコントロールできない生き物なのだ。

1 教えて！筆のこと

今号より、新連載「書写の用具研究」がスタートします。書写の時間に使う用具を、毎回一つ取り上げ、書道用具店の方にお話を伺うシリーズです。第一回は、清雅堂（東京都・千代田区）にお邪魔し、店主の廣瀬保雄さんにお話を伺いました。

1 穂の長さ・太さ

「わあ、筆がたくさん並んでる！こんなにいろいろな種類があるんですね。」

筆にはさまざまな種類がありますが、穂の長さ・大きさ・材質で分類することができますよ。

「確かに、よく見てみると、穂の大きさや長さがそれぞれ違いますね。」

筆は穂の長さによって、長い順に、長鋒、中鋒、短鋒に区別されます。中鋒がいちばん扱いやすい長さなので、中学生の皆さんが書写の時間に使われているの

創業 86 年の書道用具専門店・清雅堂へ行ってきたよ。

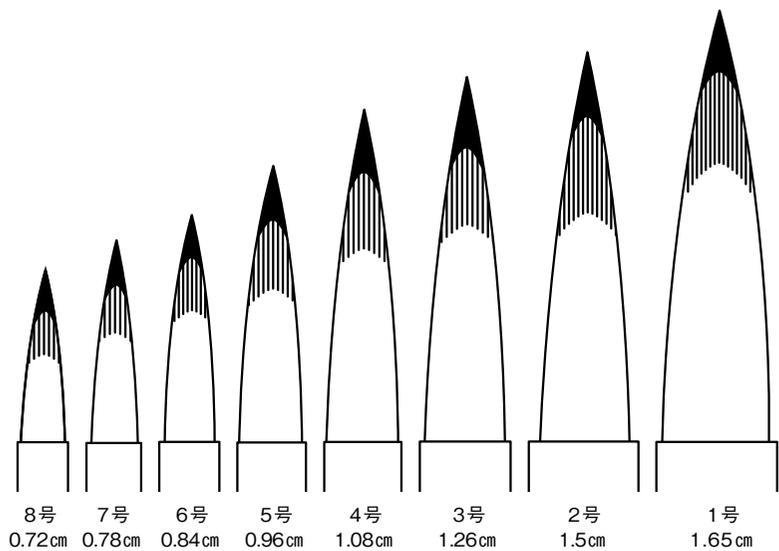


筆について、いろいろお聞きしてきました。



イラスト：北村ケンジ

▼※1 筆の太さ（cmは軸の直径）



筆の号数は、製造会社によって、太さが少し変わることがあるよ。



▼穂の材質について説明する店主の廣瀬さん。



2 穂の材質

「穂の材質についても教えてもらえますか。」

穂は、毛の種類によって弾力が異なり、書き味が変わってきます。剛毛筆、柔毛筆、兼毛筆に大別されます。

剛毛筆は、馬・狸・鹿などの硬い毛で作られた筆です。弾力が強く、墨含みがよくありません。ですから、楷書を書くときに向いています。

柔毛筆は、主に羊などの柔らかい毛で作られた筆です。弾力が少なく、墨含みがよいのが特徴です。柔らかい書き味なので、初心者にはちよつと扱いづらいかもしれません。行書や草書を書くときに向いています。

は、中鋒だと思います。

長鋒はちよつと扱いにくいので、上級者向けです。でも、慣れてくると、長い穂を操って字を書くのはとても気持ちがいいんですよ。

それから、穂の太さによって一号から十号まで号数をつけ、区別されています（※1）。皆さんが、普段、書写の授業で使っているのは、三〜五号あたりでしょうか。小筆として使うのは七〜八号だと思います。

また、兼毛筆は、硬い毛と柔らかい毛を混ぜて作られた筆です。ある程度の弾力性と墨含みがあり、楷書や行書のどちらを書くのにも向いています。

「では、中学生が使いやすい筆はどれなんですか。」

そうですね。やはり、兼毛筆が使われるのがいいと思いますよ。剛毛と柔毛が混ざっているほうが適度な弾力があり、初心者でも扱いやすいんです。

「筆には、いろいろな動物の毛が使われているんですね。」

鼠の鬚で作った「鼠鬚」という筆もあります。穂先が利き弾力があり、書聖として名高い中国の王羲之は、鼠鬚筆を使って「蘭亭序」という傑作を残したといわれています。ただし、後世の鼠鬚筆はリスの尾の毛を使ったものです。こういう筆は専門店でないとうに入らないかもしれません。

3 筆の使い方

「お店に並んでいる筆を見ると、穂がふさふさの状態のもの、固まった状態のものがありますね。」

ふさふさの状態のものを「捌き筆」、



▲お店に入った瞬間、ずらっと並んだ筆が目に入る。



① 毛を選別し、整える

げんもう
原毛を選別し、強くもんで毛の脂分を取り除いた後、毛先をそろえたら、毛先の悪い毛を1本1本除いていく。毛が絡み合ったり折れ曲がったりしないよう金櫛かなくしですき、ガラス板の上で整える。



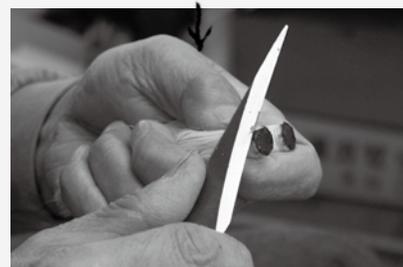
② 毛の長さを整え、混ぜ合わせる

円錐形の穂先をつくるには、異なる長さの毛を均一に混ぜ合わせる必要がある。毛の根元を、決められた寸法ごとに切り落としたうえで、ガラス板の上に並べて、丹念に混ぜ合わせることを繰り返す。



③ 毛をまとめて穂の形にする

よく混ぜ合わせて均一にした毛を、型に合わせて形を整え、ふのりを染み込ませて、穂の芯となる芯毛をつくる。天日乾燥の後、芯毛の回りに、艶のある美しい化粧毛を巻き付ける。



④ 穂の根元を固める

乾燥させた穂の根元に麻糸を巻き、尻の部分のコテで焼いて、ばらばらの毛を一つにする。その後、毛の部分に櫛を通して、ふのりやほこりなどを払い落としてきれいにし、穂を完成させる。



⑤ 穂を軸に接着し、仕上げる

竹でつくった軸に穴を開け、接着剤を付けて穂を差し込む。穂は、しっかりと軸に固定させた後、乾燥させる。最後に、穂全体に芯までしっかりふのりを含ませ、穂の形をきれいに整えて仕上げる。

筆ができるまで

清雅堂では、愛知県豊橋市で製造された筆を取り扱っています。豊橋筆の起源は江戸時代後期にさかのぼり、その品質の高さや書き味のよさから、今日に至るまで、多くの愛用者を生み続けています。今回は、豊橋筆ができるまでの主な工程をご紹介します。



▲※2 固め筆(左)と捌き筆(右)

◀筆は上海や蘇州など、中国から輸入されたものも多い。

糊で固めた状態のものを「固め筆」といいます(※2)。捌き筆は、根本まで墨を含ませて使います。いっぽう固め筆は、三分の二くらいまで手でもみほぐし、水やぬるま湯につけて糊を取り除いてから使います。

4 書を好きになってほしい

筆を使った後は、墨がついた部分を水洗いして、反故紙などで水切りし、穂先を整えて乾かすようにしてください。

——筆を買うときは、どうやって選んだらよいのでしょうか。

先ほど話したように、中学生のみならずには、兼毛筆で中鋒の三〇五号の筆が扱いやすいと思います。

でも、自分に合った筆かどうかというのは、実際に書いてみないとわかりません。もっと言えば、書いてもすぐにはわかりません。何度も書いてみて、やっと「この筆はいいな」とわかるものです。ですから、自分に合った筆に出会うのは簡単ではないんですよ(笑)。——いつか自分に合った筆に出会えるようになりたいな。

私はこの仕事をして、五十年以上になります。幼い頃から書が大好きでした。昔は店の奥に小さな座敷があって、そこで店の人たちといっしょに、書の先生に習っていたんです。

この店は、父が昭和三年に創業したの



清雅堂

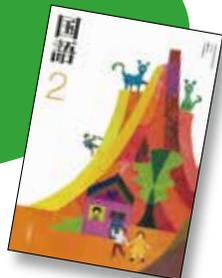
東京都千代田区神田須田町1-14
TEL: 03-3256-3011 FAX: 03-3256-3014
営業時間: 10:00 ~ 18:30 (土 ~ 18:00)
定休日: 日曜・祝日

ですが、私が店を継いだのは、戦後の復興が始まった頃から。その当時は、「書を本格的にやろう」とお客さんの意気込みがすごかったんです。半紙を二千枚一締めで売っていたのですが、その一締めを購入して、一生懸命に書の練習をしている人がたくさんいました。活気がありましたね。

皆さんにも、ぜひどんどん書いて、書のおもしろさを味わってほしいと思います。そして、うちみたいな書道用具店に、ぜひ足を運んでみてください。いろいろな筆がありますので、見ているだけでも楽しめると思います。

——ぜひ、また伺いたいです。今日は、ありがとうございました！

中2国語教科書(光村図書)に載っている
「アイスプラネット」が
1冊の本になりました!



ぼくは、原島悠太。中学2年生。
家には、いそろううしている
38歳の「ぐうちゃん」がいる。
ぐうたらしているけど、
ぼくはぐうちゃんが好きだ。
なぜなら、世界のあちこちで体験した話を、
いろいろ聞かせてくれるから。
ぐうちゃんの話は、信じられないような
「ほら話」ばかりだけど、
とにかくおもしろいんだ。



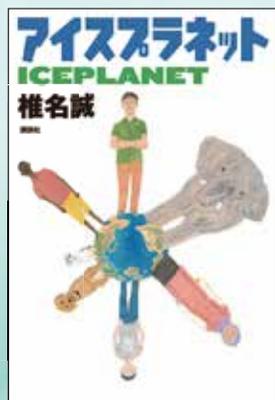
椎名 誠

アイスプラネット

ICEPLANET

ぐうちゃんの「ほら話」の数々

- アナコンダが馬を呑み込むのを見た!?
- 梅雨や台風は「うらやましい」もの
- 体重0.5トンの男
- 7本足の生き物がいる!?
- 地球の中にある「水の惑星」
- おやつに幼虫を食べる人たち
- …など



定価: 本体1,200円(税別)
ISBN 978-4-06-218233-1

平成26年度用教科書 訂正のお知らせ

平成26年度用教科書では、平成25年度用教科書から以下の箇所を訂正いたします。

■国語

学年	ページ	行など	25年度	26年度
3年	50	下10	同じものを二つずつ選ぶ。	同じものを選ぶ。
		下13	薄暮	暮色
		下16	カ 若干	カ 若輩

■書写

ページ	行など	25年度	26年度
1	上段左	ほかの学習に… 学校生活に… 日常に…	他の学習に… 学校生活に… 日常に…
3	下段右	図版(散氏盤 西周)	図版変更(散氏盤 西周)
4	上段左	行書五言律詩軸 明	行書五言律詩軸 明・清
56	下段左	祇園精舎	祇園精舎
64	上段左	「火の鳥」漫画少年版(一九五四年)。せりふやタイトルも手書きで書いている。	「火の鳥」漫画少年版(一九五四年)。せりふやタイトルも手書きである。
87	中央	段落のはじめは1ます空ける。	段落の初めは1ます空ける。



宮澤正明 編
光村図書
定価: 本体1,800円+税
360ページ 四六判
ISBN978-4-89528-679-4

板書の文字、
気になったことは
ありませんか?

光村図書の書写ハンドブックの決定版!

- 光村図書「書写」教科書編集委員による手書きの文字
- 教科書体活字に即した書きぶり
- 全文字に間違えやすい部分に配慮した筆順分解を提示
- 日常に役立つ、毛筆楷書、硬筆楷書、硬筆行書の3種を提示
- 字形のポイント、許容についての図示
- ☆付録として「筆順チェックシート」も!

好評発売中!

新・字形と筆順